

2026年5月8日  
サンデン株式会社

## 創業の地:群馬県伊勢崎市において サステナビリティ経営と地域連携の取り組みを発信 ～「いせさき環境Forum2026」にてサステナビリティ担当が登壇～



群馬県地球温暖化防止活動推進センター長 片亀 光 氏、伊勢崎市市長 臂 泰雄 氏、  
サンデン株式会社 サステナビリティ担当 崎村 亮治 氏、三菱電機株式会社 群馬工場 生産企画課 光山 達紀 氏

サンデン株式会社(本社:群馬県伊勢崎市、以下、当社)は、2026年4月14日に群馬県伊勢崎市で開催された「いせさき環境 Forum2026」において、当社サステナビリティ担当の崎村 亮治が登壇し、サステナビリティ活動および地域連携の取り組みについて講演しました。

本フォーラムは、「2030年へー企業と地域の総力で人類のモデルとなる都市を織り出そうー」をテーマに、企業・行政・市民が一体となって環境経営や生物多様性、地域連携のあり方を考える場として開催されたものです。

### ● 創業の地:伊勢崎市とともに歩むサンデンのサステナビリティ活動

サンデンは、創業の地である群馬県伊勢崎市において、事業活動と地域・自然環境との調和を重視した経営を長年にわたり推進してきました。講演では、脱炭素社会の実現や生物多様性の保全といったグローバルな課題に対し、企業単独の取り組みにとどまらず、地域や行政と連携することの重要性について紹介しました。

特に、2030年を一つの節目とした環境課題に対し、環境負荷低減の取り組みを「コスト」ではなく「価値創出」と捉え、地域社会と共有しながら進めていく姿勢を述べました。

## ● グローバルにおいてもサステナビリティ活動を推進

当社はグローバルにサステナビリティ活動を推進しており、世界各地で蓄積してきた活動の知見や実践は、現在、顧客からの高度化する環境・社会・ガバナンスに関する要請に応える上で不可欠なものとなっています。

脱炭素対応や環境負荷低減、生物多様性への配慮といった環境面に加え、労働・人権尊重、責任ある調達などの社会面、さらにはコンプライアンスやリスク管理、透明性の高い経営といったガバナンス面でも、要求水準は年々高まっています。当社は、こうした要求に適切に対応し、企業としての責任を果たしてまいります。

## ● 生物多様性と地域連携への考え方

パネルディスカッションでは、「生物多様性に関する取り組み」および「地域・行政との連携」をテーマに、伊勢崎市長をはじめとする自治体関係者や他登壇企業と意見交換を行いました。当社からは、企業活動が地域の自然や生活環境と密接に関わっていることを前提に、地域特性を理解し、地域や行政と対話を重ね、理解と協力を得ながら取り組みを進めることの重要性を紹介しました。

## ● 持続可能な社会を目指し

当社は今後も、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーとのつながりを大切に、環境経営とサステナビリティ活動をグローバルで推進してまいります。

企業としての責任を果たすとともに、顧客、地域、社会と価値を共有しながら、持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指します。

---

### 本件に対するお問い合わせ

サンデン株式会社 総務本部 広報・IR 担当

Tel : 03-5828-5582 Email : [sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com](mailto:sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com) Web : <https://www.sanden.co.jp/>